

日交研シリーズ A-694

平成 28 年度研究プロジェクト

「ライフスタイルの変化にともなう新たな物流サービスの成立要件に関する研究」

刊行：2017 年 11 月

ライフスタイルの変化にともなう新たな物流サービスの成立要件に関する研究

Study on the Prerequisites about new logistics services by the Change of Lifestyle

主査：岩尾 詠一郎（専修大学商学部教授）

Eiichiro IWAO

要 旨

近年の少子高齢化による、過疎化問題や高齢者の介護問題や医療問題、女性の社会進出や生活の 24 時間化、商品の差別化等による生活の多元化、および情報化や国際化により、人々のライフスタイルが変化している。

この少子高齢化、生活の多元化、情報化、国際化は、小口貨物の多頻度輸配送の増加等の物流サービスに影響を与えることがあるため、ライフスタイルの変化により、新たな物流サービスが必要となる場合もある。このことから、ライフスタイルの変化と新たな物流サービスの相互関係を明らかにするとともに、新しい物流サービスの成立要件を明らかにする必要がある。

そこで、本研究では、ライフスタイルの変化と既存の物流サービスの事例を分類し、ライフスタイルの変化との相互関係を明らかにするとともに、ライフスタイルの変化にともなう新たな物流サービスが成立する要件を明らかにしていくことを目的とする。

具体的には、下記の手順で研究を進めた。

1 章『はじめに』では、本研究の背景と目的について述べた。

2 章『ICT 化と少子高齢化にともなう販売方法の変化と成立要件の分析』では、ライフスタイルの変化のうち、ICT 化と高齢化に着目して、小売業と消費者間の商品の販売方法の変化と特徴を明らかにした。

3 章『コンパクトシティの実現前後の物流効率化と環境負荷削減の数値的な分析』では、コンパクトシティが実現した場合の物流の効率化と環境負荷削減効果を、走行距離を評価指標として数値的な分析を行った。

4 章『動脈物流と静脈物流の組合せによる中山間地域の物流効率化に関する研究』では、住宅までの生活必需品の輸送（動脈物流）と住宅からの家庭ごみの輸送（静脈物流）の組合せの具体例として、「生活必需品の帰り便によるリサイクル品輸送」を対象に、ヒアリング調査にもとづき、実施にあたっての検討項目を明らかにした。

5 章『宅配の末端配送における輸送形態とその評価』では、宅配便の末端輸送に着目して、人口密度の小さい地域における末端配送コストの低減に有効な仕組み（留置き配送）を提案し、その効果を検証するとともに、その成立可能性を利用者視点にもとづく評価をもとに検討した。

キーワード：ライフスタイル、物流サービス、コンパクトシティ、中山間地域、宅配便

Keywords : Lifestyle, logistics services, Compact City, Hilly and Mountainous Area, Delivery Services